



山田こうじです！

第38回地方議員研究集会



いつせい地方選挙 参議院選挙勝利へ

京都地方議員研究集会
が、11月12・13日
の2日間の日程で開催さ
れました。1日目は、渡
辺府委員長、大井自治体
部長、光永府会議員団幹
事長からの報告を受け、
全大会討論が行われまし
た。

町民要求に基づかない
町政に、公立保育所の民
営化に反対する住民運動
に若い世代が立ち上がり、
市民との共闘が、無所属
議員との共闘に繋がり、
町長選挙、町議選挙に勝
利した大山崎町の報告。
新たな議席に挑戦する
候補者の決意。京都市会

からは、井坂幹事長が、
9月市会で災害対応に全
力で取り組んだ京都市会
議員団の論戦が紹介され
ました。

午後からは、5つの分
散会に分かれ、各自治体
での活動の交流です。
各地域や学区毎の、要
求を整理し、要求実現し
た取り組みや、合併によ
り広域になった町政で、
旧村単位の、地域振興会
を作り、地域の担当職員
を配置し、縦割りの行政
の仕事の仕方を横割りに
し、住民の要求を丸ごと
受け止める職員体制にす
る取組、など熱心に活動
交流が行われました。

行政の効率化ではなく 地域化を！

2日目の全体会では、
奈良女子大学の中山徹教
授の「インバウンド・コ
ンパクトシティの暴走に
対抗する地域再生の方向」、
党中央政策委員会の谷本
論さんから「安倍政権の
医療・介護の大改悪への
総反撃を」と題しての講
演です。

東京一極集中を是正す
ると言いながら、国全体

で人口が減っても、首都
圏の国際競争力強化の名
のもとに、東京一極集中
を進めているのが、地方
創生総合戦略です。

人口が減少しても、生
き残れるための再編、コ
ンパクト化（立地適正化）
を強引に進め、周辺地域
が住めなくなり、更なる
人口減少へ。

行政にとって必要なの
は、効率化ではなく地域
化です。行政職員は地域
に出て、住民と一緒に地
域課題を解決することが
大切です。コミュニティ
（生活圏・小学校区）に
対応する出張所を作り、
職員を配置することです。
出張所の職員は、子育て
支援・高齢者、障害者、
社会教育、まちづくり、
防災等、縦割りではなく、
フルセットで対応する機
能を持たすことが必要で
す。

国保に1兆円の公費増で 協会けんぽ並みの保険料！

全国知事会は、国保財
政の基盤強化の観点から
総額1兆円の公費投入の
必要性を訴えています。
国保加入者は制度発足

当時、農林水産業と自営
業者が7割を占めていま
したが、現在2割を切り、
逆に無職等、収入がない
方が半数近くになってい
ます。

所得が低い人が加入し
ている国民健康保険の保
険料は、協会けんぽと比
較して倍近くの保険料で
す。

協会けんぽでは扶養家
族が増えても保険料は変
わりません。1兆円を投
入すれば、所得と関係な
く頭割りで付加されてい
る均等割りを大幅に削減、
あるいはゼロに出来ます。
あるいはゼロに出来ます。
京都市の保険料で計算
すると、年収400万円
のサラリーマンの保険料
は年間40万円ほどが、
24万円に引き下げら
れ、それが出来ます。

消費税増税を「全世代
型社会保障」等と言っ
ていますが、中身は年金支
給開始年齢を引き上げを
検討し、「高齢者にもつ
と働け」という中身です。

安倍政権の6年間で、
消費税増税しながら、3.
9兆円も社会保障が削ら
れました。党躍進と、野
党共闘勝利を！

まじっとおおき 山田こうじです！

11月になり、一段と秋
の深まりを感じます。
実りの秋、食欲の秋、ス
ポーツ文化の秋です。
各学区では、文化行事が
取り組まれ、歌やダンス、
楽器演奏等日頃の練習の成
果を披露したり、昔懐かし
い童謡などを参加者全員で
歌うなどの交流が行われて
います。

保育所の
バザー、母
子寮、児童
館祭り等々、
毎週のように
開かれ、
この時期は、
いろんな方と交流を深める
ことができます。

